



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年1月11日

上場会社名 株式会社 ジュンテンドー 上場取引所 東  
 コード番号 9835 URL http://www.juntendo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 松浦 誠 TEL 0856-24-2400  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の業績 (2021年3月1日~2021年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	35,682	△4.6	1,433	△36.6	1,447	△35.4	907	△36.5
2021年2月期第3四半期	37,408	14.1	2,261	331.9	2,241	358.7	1,430	365.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	112.29	—
2021年2月期第3四半期	177.33	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	36,561	12,727	34.8	1,568.96
2021年2月期	35,129	11,898	33.9	1,475.34

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 12,727百万円 2021年2月期 11,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,400	△7.8	930	△59.2	900	△60.2	480	△65.0	59.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	8,331,164株	2021年2月期	8,331,164株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	219,304株	2021年2月期	266,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	8,085,816株	2021年2月期3Q	8,065,095株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
3. 補足情報 .....	5
商品別売上高 .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大等により、行動制限が断続的に行われる中、先行き不透明な状況が続きました。一方、9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除後は、新規感染者数が低位で推移したこともあり、行動制限が徐々に緩和されるにつれ、明るい兆しも見えてまいりました。個人消費につきましては、新規感染者数の減少と行動制限の緩和により、消費マインドは少しずつ上向いてきておりますが、雇用環境の改善ペースが緩慢であることなどから、本格的な回復には至りませんでした。今後におきましては、原油をはじめとした、原材料価格の高騰による急激な物価上昇と、雇用・所得環境の改善の遅れが景気回復の足かせとなることが懸念されます。

このような状況のもと、当社では地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラとなるべく、安心・安全な生活環境を地域社会に提供するため、社会的距離の確保、店舗における除菌・定期消毒、社員の健康管理等の適切な感染拡大防止対策を実施し、お客様と社員の安全と健康を最優先としたうえで、営業を継続してまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新型コロナワクチンを接種した社員に対しては特別手当を支給することで、社員の新型コロナワクチン接種を積極的に推進いたしました。

当第3四半期累計期間の売上高及び営業収入につきましては、前年に感染症対策衛生用品の需要が急増したことによる反動減もあり、感染症対策衛生用品の販売が前年に対して下回ったこと及び盛夏時期の天候不順等が大きく影響し、前年同期に対して減少いたしました。一方、在宅時間を充実させるための消費傾向は依然として続いており、弊社の基軸である「ホームセンターは農業、園芸、資材、金物、工具、ワーキングの専門店である。」に基づく商品施策に継続して取り組んできたことにより、DIY及び家庭園芸の需要を取り込むことができました。とりわけ、9月以降は比較的好天が続いたこともあり、園芸植物・農業関連部門におきましては好調だった前年同期を上回る結果となりました。店舗につきましては、当第3四半期累計期間においてホームセンター1店の開店と3店の全面改装を実施し、ホームセンター2店を閉店いたしました。

当第3四半期累計期間の売上高及び営業収入は、356億8千2百万円で前年同期比17億2千6百万円(4.6%)の減少となりました。売上高は、343億1千4百万円で前年同期比16億9千6百万円(4.7%)の減少、営業収入は13億6千7百万円で前年同期比2千9百万円(2.1%)の減少となりました。

損益面では、売上高及び営業収入の減少により、営業利益は14億3千3百万円で前年同期比8億2千8百万円(36.6%)の減少、経常利益は14億4千7百万円で前年同期比7億9千4百万円(35.4%)の減少となりました。四半期純利益につきましては、9億7百万円で前年同期比5億2千2百万円(36.5%)の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較し14億3千2百万円増加し、365億6千1百万円となりました。これは、主に現金及び預金8億4千4百万円及びたな卸資産5億3千5百万円の増加によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較し6億3百万円増加し、238億3千4百万円となりました。これは、主に借入金10億8千8百万円の増加と、未払法人税等5億5百万円の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較し8億2千8百万円増加し、127億2千7百万円となりました。これは、主に四半期純利益による9億7百万円及び譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分による3千2百万円の増加と、剰余金の配当による1億2千万円の減少等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月9日決算短信において公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,850,488	2,694,813
受取手形及び売掛金	271,363	301,471
商品	11,976,600	12,512,068
貯蔵品	33,822	34,051
その他	566,747	560,994
流動資産合計	14,699,022	16,103,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,545,406	26,921,867
減価償却累計額	△17,435,192	△17,832,234
建物及び構築物(純額)	9,110,213	9,089,633
土地	5,988,327	5,988,327
その他	3,911,911	4,300,672
減価償却累計額	△3,062,920	△3,261,951
その他(純額)	848,991	1,038,721
有形固定資産合計	15,947,533	16,116,682
無形固定資産	407,954	309,500
投資その他の資産	4,074,917	4,032,312
固定資産合計	20,430,405	20,458,495
資産合計	35,129,427	36,561,894
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,074,403	3,302,213
電子記録債務	4,162,082	4,339,348
1年内返済予定の長期借入金	2,250,940	2,406,220
未払法人税等	695,607	190,408
引当金	427,846	586,014
その他	1,795,663	1,414,588
流動負債合計	12,406,543	12,238,792
固定負債		
長期借入金	7,100,744	8,033,709
退職給付引当金	2,409,792	2,380,607
資産除去債務	521,246	529,109
その他	792,603	652,456
固定負債合計	10,824,386	11,595,882
負債合計	23,230,930	23,834,675
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,224,255	4,224,255
資本剰余金	3,999,241	4,011,275
利益剰余金	3,787,186	4,574,203
自己株式	△116,230	△95,674
株主資本合計	11,894,453	12,714,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,043	13,159
評価・換算差額等合計	4,043	13,159
純資産合計	11,898,497	12,727,219
負債純資産合計	35,129,427	36,561,894

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	36,010,603	34,314,103
売上原価	25,254,964	24,188,767
売上総利益	10,755,638	10,125,335
営業収入	1,397,468	1,367,928
不動産賃貸収入	405,177	406,236
業務受託収入	992,290	961,692
営業総利益	12,153,107	11,493,263
販売費及び一般管理費	9,891,461	10,059,943
営業利益	2,261,646	1,433,320
営業外収益		
受取利息	9,945	8,741
受取配当金	6,368	6,080
受取手数料	4,123	4,123
受取保険金	5,311	18,169
雑収入	27,918	31,877
営業外収益合計	53,667	68,993
営業外費用		
支払利息	64,318	46,932
雑損失	9,263	8,067
その他	16	3
営業外費用合計	73,598	55,003
経常利益	2,241,714	1,447,309
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	198	—
貸借契約解約益	—	225
工事負担金等受入額	—	15,740
特別利益合計	198	15,966
特別損失		
固定資産売却損	37	—
固定資産除却損	68,441	57,408
減損損失	52,122	20,602
特別損失合計	120,601	78,011
税引前四半期純利益	2,121,311	1,385,264
法人税、住民税及び事業税	740,713	493,830
法人税等調整額	△49,572	△16,555
法人税等合計	691,141	477,274
四半期純利益	1,430,170	907,990

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

商品別売上高

(単位：千円)

部門別	期別	前第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)	(参考)前期 (2021年2月期)
		金額	金額	金額
売上高	家庭雑貨・家庭電器	10,528,491	9,035,310	13,880,077
	園芸農業・資材工具	19,327,062	19,225,888	23,922,950
	趣味・嗜好	5,368,930	5,327,399	7,482,310
	その他	2,543	2,550	3,328
	ホームセンター事業	35,227,028	33,591,148	45,288,667
	関連事業	783,574	722,954	1,081,689
	売上高合計	36,010,603	34,314,103	46,370,357
営業収入	ホームセンター事業	1,389,853	1,361,561	1,801,296
	関連事業	7,615	6,367	9,779
	営業収入合計	1,397,468	1,367,928	1,811,076
営業収益(売上高及び営業収入合計)		37,408,072	35,682,031	48,181,433

(注) 1 ホームセンター事業の各部門の内容は次のとおりであります。

家庭雑貨・家庭電器	台所用品、家庭用品、日用消耗品、家電製品、寝装・インテリア等
園芸農業・資材工具	家庭園芸用品、農業用品、工具・建築金物、塗料・作業用品等
趣味・嗜好	ペット用品、オフィス・店舗用品等
その他	消耗品等

2 関連事業の内容は次のとおりであります。

書籍・CD・DVD等

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。